

●ハラビロカマキリに寄生したハリガネムシ(未熟)①



事務所近くの公園を通りかかった所、ハラビロカマキリの死体が転がっており、アリがたかっていた。時期的にもしやおもい、腹部を割いてみましたところ、内部に未熟のハリガネムシが詰まっていた。

ハリガネムシは類線形動物門という仲間分類される仲間、主に昆虫類に寄生します。特にハラビロカマキリには高い確率で寄生する事が知られています。寄生されたハラビロカマキリは命を奪われる事はないものの、生殖能力は失います。

●ハラビロカマキリに寄生したハリガネムシ(未熟)②



更に腹部を切り裂いて内部のハリガネムシを引き出してみました。ハリガネムシは宿主(ハラビロカマキリ)の脳にある種のタンパク質を送り込み、宿主を操作して水辺に誘導します。そしてハラビロカマキリの尾部から脱出して水中に移動します。この時、体表のクチクラという膜が硬化してビロードの様な質感になるのですが、上写真の個体は未熟であったため、柔らかいままでした。これからの時期、ハリガネムシに寄生されたハラビロカマキリやカマドウマ、コオロギなどの昆虫が水辺をフラフラ歩いているのを見かける事もあるかと思えます。水中への脱出を観察してみるのも面白いですゾ。